

第28回あいち国際
女性映画祭2023
国内招待作品

命を産み、
育てるあなたのそばに、
信頼できる誰かが
いますように



70%の風景

監督・撮影・編集：吉田夕日

出演：渡辺愛（つむぎ助産所）、神谷整子（みづき助産院）

撮影：伊藤加菜子 音楽＝高田明枝（作曲）、布谷史人（演奏） サウンドエディター：井上久美子

製作：SUNSET FILMS 後援：公益社団法人日本助産師会 宣伝デザイン：中野香 配給・宣伝：リガード

ドキュメンタリー／2023／日本／106分／DCP © 2023 SUNSET FILMS

助産所や自宅での出産を選択した4人の女性と、彼女たちをサポートする助産師。
妊娠、出産、産後と子育てのはじまり…途切れることのない日々の記録。

josan-movie.com

99%のお産が病院やクリニックといった
医療施設で行われている日本で
助産所や自宅での出産という
「1%の選択」をした4人の女性と
彼女たちをサポートする助産師の
日々をみつめたドキュメンタリー



あまり知られていない助産所という場所。そこでは助産師が医療機関と連携し、妊娠、出産、産後と子育ての始まりまで、一貫して母子をサポートしています。健診のたびに顔をあわせ、お腹にふれ、何気ない会話を交わす。妊婦と助産師はささやかな時間を積み重ね、信頼関係を築き、命が生まれようとする“その時”をともに待ちます。

初めてのお産に挑む人、予定日を過ぎても生まれる気配のない人、自宅での出産を希望する人、コロナ禍に病院での立ち会い出産が叶わず転院してきた人。都内にある二つの助産所を舞台に4人の女性のお産を撮影したのは、本作が初監督作品となる吉田夕日。第一子を病院で、第二子を助産所でお産した経験から、助産師の世界をもっと知りたいと本作の制作を決意しました。



この映画で描かれるのは助産所や自宅での自然分娩です。しかし、大切なのは場所や方法を問わず、命を産み、育てようとする女性のそばに信頼できる誰かがいる、ということ。近年、さまざまな理由により、お産の取り扱いをやめる助産所が増えています。社会が多様化し、選択肢がひろがる一方で、失われつつある“命の風景”をみつめた4年間の記録です。

memo 世界保健機関 (WHO) が推奨する
分娩期のケアとは…

- 妊産婦を尊重したケア
- 効果的なコミュニケーション
- 産婦が希望する付き添い者の確保
- 助産師制度が機能している環境下において
助産師が主導する妊娠・出産・産後を通した継続ケア

※「WHOガイドライン: ポジティブな出産体験のための分娩期ケア」参照



監督・撮影・編集: 吉田夕日 出演: 渡辺愛 (つむぎ助産所)、神谷整子 (みづき助産院)

撮影: 伊藤加菜子 音楽: 高田明枝 (作曲)、布谷史人 (演奏) サウンドエディター: 井上久美子

製作: SUNSET FILMS 後援: 公益社団法人日本助産師会 宣伝デザイン: 中野香 配給・宣伝: リガード

ドキュメンタリー | 2023 | 日本 | 106分 | DCP © 2023 SUNSET FILMS [@josan_movie](https://www.instagram.com/josan_movie) [fb.com/josan.movie2023/](https://www.facebook.com/josan.movie2023/) josan-movie.com



1%の風景

11.11 (土) よりロードショー

近日公開! — [愛知県・名古屋市] シネマスコール ほか全国順次公開



ポレポレ東中野

03 3371 0088 pole2.co.jp

JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分

都営大江戸線A1出口より徒歩1分

